

国際会議等の誘致

国際会議等（MICE）誘致推進事業

東日本大震災の発生以降、本県は「地震・津波・原発・風評」の4つの被害から立ち上がるために邁進しているところである。今後被害の克服を図り、復旧・復興を遂げていく中で、国際会議等を誘致し開催に結びつけることは、風評の払拭はもちろん、震災以降の福島イメージ回復を図り、更なる県の魅力の発信や観光・商工業・農業等も含めた地域経済の活性化のためにも絶好の機会になると考えられる。

このため、本県では外務省や観光庁などの中央官庁や日本政府観光局（JNTO）、関係機関への働きかけなどを行い、県内での国際会議等誘致に取り組んでいる。

さらに、本県で開催される国際会議等に際しては、風評の払拭及び県の魅力発信を目的に、視察コースの設定や案内、会議会場内における県復興状況等のパネル展示やプレゼンテーションの実施、観光・物産の展示、レセプションにおける県産品の利用などにより、参加者を通じて世界へ正しい情報を発信している。

1 県内における国際会議等開催実績

(単位：件数)

	国際会議(C)	国際ミーティング(M)	報奨旅行・ 研修旅行等(I)	展示会・ イベント等(E)	合計
令和3年度	1	1	15	10	27
	(9)	(22)	(1)	(3)	(35)
令和4年度	17	0	12	2	31
	(1)	(0)	(0)	(0)	(1)

※1 令和5年3月17日現在(国際課調べ)

※2 MICEはMeeting(企業等の会議)、Incentive Travel(企業等の行う報奨・研修旅行、(インセンティブ旅行))、Convention(国際機関・団体、学会等が行う国際会議)、Exhibition/Event(展示会・見本市、イベント)の頭文字

※3 国際会議件数：日本政府観光局(JNTO)基準を参考に集計

※4 ()内はリモートのみで開催された国際会議等の件数

※5 令和3年度は東京オリンピックを契機とした県内市町村と海外とのホストタウン交流(事前キャンプやオンラインを活用した交流)により、件数が増加したもの。

2 令和4年度の主な実績(①開催日 ②主催 ③開催地 ④規模 ⑤県対応)

(1) 日本顕微鏡学会第78回学術講演会

①令和4年5月 ②公益社団法人日本顕微鏡学会 ③郡山市
④3か国791名 ⑤対応なし

(2) 福島廃炉研究国際会議(FDR2022)

①令和4年10月 ②一般社団法人日本機械学会、一般社団法人原子力学会 ③檜葉町
④8か国172名 ⑤対応なし

(3) 国際青年原子力会議

①令和4年11月 ②一般社団法人日本原子力学会若手連絡会 ③郡山市
④対面34か国250名、リモート18か国44名 ⑤対応なし

(4) ETLTC:技術教育におけるインテグレーション

①令和5年11月 ②ETLTC & ACM ③会津若松市 ④対面4か国75名、リモート6か国200名
⑤対応なし

(5) ISSM国際空間メディアシンポジウム

①令和5年1月 ②Audio Engineering Society コンベンション ③会津若松市
④対面3か国42名、リモート3か国27名 ⑤対応なし